

人間関係とコミュニケーション

問題 3 ストレス対処行動の一つである問題焦点型コーピングに当てはまる行動として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 趣味の活動をして気分転換する。
- 2 トラブルの原因に働きかけて解決しようとする。
- 3 運動して身体を動かしストレスを発散する。
- 4 好きな音楽を聴いてリラックスする。
- 5 「トラブルも良い経験だ」と自己の意味づけを変える。

問題 4 Bさん(80歳、女性)は、介護老人保健施設に入所が決まった。今日はBさんが施設に入所する日であり、C介護福祉職が担当者になった。C介護福祉職は、初対面のBさんとの信頼関係の形成に向けて取り組んだ。

C介護福祉職のBさんへの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自発的な関わりをもつことを控えた。
- 2 真正面に座って面談をした。
- 3 自分から進んで自己紹介をした。
- 4 終始、手を握りながら話をした。
- 5 孫のような口調で語りかけた。

問題 5 介護老人福祉施設は、利用者とその家族、地域住民等との交流を目的とした夏祭りを開催した。夏祭りには、予想を超えた来客があり、「違法駐車が邪魔で困る」という苦情が近隣の住民から寄せられた。そこで、次の夏祭りの運営上の改善に向けて職員間で話し合い、対応案を作成した。

次の対応案のうち、P D C Aサイクルのアクション(Action)に当たるものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 近隣への騒音の影響について調べる。
- 2 苦情を寄せた住民に話を聞きに行く。
- 3 夏祭りの感想を利用者から聞く。
- 4 来客者用の駐車スペースを確保する。
- 5 周辺の交通量を調べる。

問題 6 D介護福祉職は、利用者に対して行っている移乗の介護がうまくできず、技術向上を目的としたO J Tを希望している。

次のうち、D介護福祉職に対して行うO J Tとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 専門書の購入を勧める。
- 2 外部研修の受講を提案する。
- 3 先輩職員が移乗の介護に同行して指導する。
- 4 職場外の専門家に相談するように助言する。
- 5 苦手な移乗の介護は控えるように指示する。